

## 指定管理者による管理運営の実施状況報告

- 1 施設名 : 福岡県立ももち文化センター
- 2 指定管理者 : ももちパレスネットワーク
- 3 指定期間 : 令和2年4月1日～令和7年3月31日
- 4 施設設置目的 : 県民に文化活動の場を提供し、芸術文化の振興を図る。
- 5 管理運営についての点検結果（令和4年4月1日～令和5年3月31日）
  - (1) 点検方法 : 事業報告書、現地確認・ヒアリング等をもとに、指定管理者による管理運営の実施状況の点検を行った。
  - (2) 点検結果 : 別添のとおり

## 1 管理運営状況総括表

大項目	事業計画（取り組みや改善の内容等）	管理運営の概要
①公共性（公益性）の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の設置目的を踏まえた運営理念を定め、県民に親しまれる施設として文化振興に寄与する。</li> <li>来場者すべてに平等でホスピタリティ溢れるサービスを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の設置目的を踏まえた上で、管理運営理念である「文化芸術のもつ『多様な価値』を活かして未来をつくる施設へ」のもと、県民の主体的で多様な文化活動と地域社会を積極的に支援・けん引し、県民に親しまれる施設運営を通じて、文化芸術の振興を図っている。</li> <li>施設の担当者が、障がいのある方の施設利用に際し、適切に対応できるよう、准サービス介助士の資格を取得しているほか、障がいのある方の施設利用に係る実地研修に参加した。</li> </ul>
②施設利用及びサービス向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>多くの県民が文化芸術に親しみ、参加できるように、利用者の声を聞き、サービス向上に努める。</li> </ul> <p>（目標：利用者数 400,000 人）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「舞台芸術の振興とアマチュア文化団体の育成の場」としての機能を発揮できるように、舞台芸術振興、社会包摂、人材育成、海外との地域交流、地域文化コミュニティ育成に係る自主事業を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>築 49 年を経過した施設の機能維持と安全確保に常に注意を払い、施設利用に支障が出ないように、不具合や危険箇所の早期発見、早期対応に努めている。</li> <li>社会的障壁の除去及び利用者へのサービス向上のため、まごころ駐車場の改善や大ホール楽屋出入口へのスロープと水汲み場の設置など、施設整備を行っている。</li> <li>新型コロナウイルス感染症対策として、サーモカメラ・空気除菌清浄機・加湿器・手指消毒液等の設置、キャッシュレス決済の導入を行っている。</li> <li>利用者数は、前年度に引き続きコロナ禍からの回復傾向にある。施設稼働率は、新型コロナウイルス感染症拡大前の令和元年度程度まで回復している。</li> </ul> <p style="text-align: center;">（利用者数：312,828 人（対前年度 +12.2%、対 R1 年度 △19.9%） 施設稼働率：69.82%（対前年度 +6.2 ポイント、対 R1 年度 △ 2.4 ポイント））</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多様な背景を持つ当事者団体の文化活動の発表の場であるピープルアートパフォーマンス等の社会包摂事業、学生演劇祭の開催やアートマネジメント講座の開催等を通じた人材育成事業等、多様な自主事業を行っている。</li> </ul> <p style="text-align: center;">（事業数：28 事業（対前年度 +2 事業、対 R1 年度 △26 事業） 参加者数：21,175 人（対前年度 △3.4%、対 R1 年度 △52.3%） ＜主なもの＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>舞台芸術振興事業：福岡市民劇場演劇鑑賞会、大沼由紀舞踊公演</li> <li>社会包摂事業：ピープルアートパフォーマンス（障がい者団体等のダンスや音楽演奏の発表の場）、特別支援学級等における演劇手法を活用したコミュニケーション能力向上ワークショップ</li> <li>人材育成普及啓発事業：福岡学生演劇祭、アートマネジメント講座</li> <li>海外との地域交流事業：韓国人演出家による舞台「水の駅」</li> <li>文化コミュニティ事業：ももち文化・健康塾、シニア演劇部</li> </ul>

大項目	事業計画（取り組みや改善の内容等）	管理運営の概要
③経営（収支）改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務量の変化に応じた柔軟な管理体制・本社支援体制を構築し、効率的な経営を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用料金収入は、新型コロナウイルス感染症拡大前の令和元年度程度まで回復している。</li> </ul> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">           利用料金収入実績：76,881千円（対前年度 +13.3%、対R1年度 △1.1%）            県委託料（指定管理料）：86,361千円（対前年度 △8.5%、対R1年度 △0.6%）            ※上記委託料は、改修工事による休館や感染症拡大に伴う補填料を含む。         </div>
④職員確保方策及び健全な財政基盤	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な人材を配置し、利用状況に合わせた効率的で柔軟な勤務体制を構築することで、サービスの安定的な提供と向上に努める。</li> <li>・安定した経営と財政基盤を構築する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続した事業実施やサービスの質の確保のため、専門的知識・技術を有する者や現場対応経験者を配置するなど、適正な人員体制を確保している。</li> <li>・防犯・防災・危機管理や接遇研修など、様々な職員研修を実施し、職員のサービス・コンプライアンスの意識・能力の向上に努めている。</li> <li>・債務超過もなく、構成団体の資産等状況は良好である。</li> </ul>
⑤施設管理上の個別事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報保護や情報公開に関する規程を整備し、適正な個人情報保護及び情報公開に努める。</li> <li>・災害緊急時のマニュアルに即した対応、利用者の安全確保に努め、職員の危機管理教育を徹底。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報の保護、情報開示について、マニュアルや規程の整備、職員研修の実施により適切な対応に努めている。</li> <li>・災害、暴力的行為等に迅速かつ適切な対応ができるよう、マニュアルの整備と職員への周知、訓練を実施している。</li> </ul>

## 2 点検結果

<input type="checkbox"/> A+（提案内容を上回った） <input checked="" type="checkbox"/> A（提案内容をやや上回った） <input type="checkbox"/> B（概ね提案内容どおり） <input type="checkbox"/> C（提案内容をやや下回った） <input type="checkbox"/> D（提案内容を下回った）	<p><b>【総合コメント】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がいのある方や高齢者に焦点を当てた事業を展開し、誰もが生涯を通じて文化芸術に親しめる機会の提供に努めている。</li> <li>・若い世代を中心とした演劇ワークショップを実施するなど、地域で活躍する舞台芸術家の発掘と育成に努めている。</li> <li>・障がいのある方の施設利用に適切に対応するため、職員に対し資格取得や現場研修への参加を促している。</li> <li>・利用者数は前年度に引き続きコロナ禍からの回復傾向にあり、施設稼働率・利用料金収入はコロナ禍以前の水準まで回復している。</li> </ul> <p>以上から総合的に判断した結果、提案内容をやや上回った管理運営が行われている。</p>
---	---